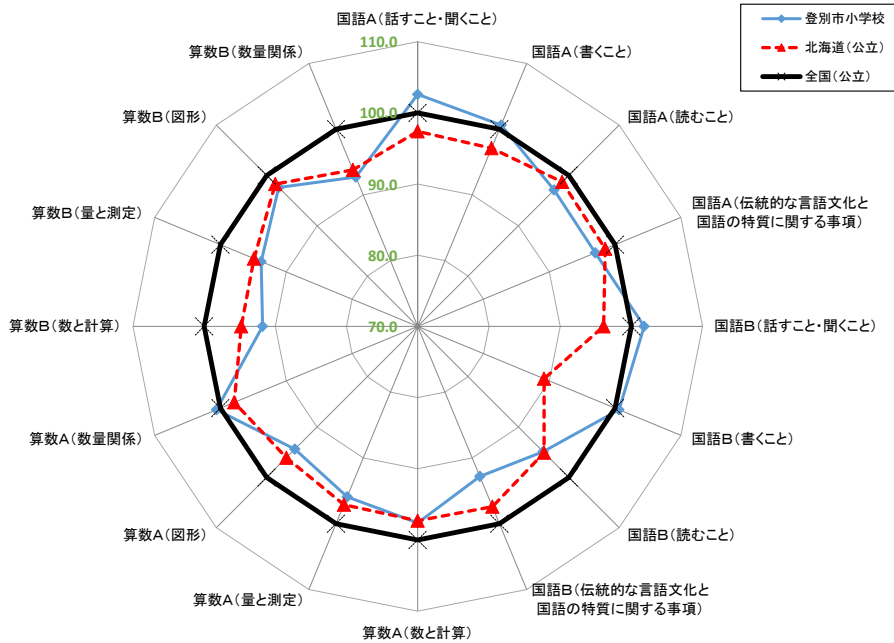


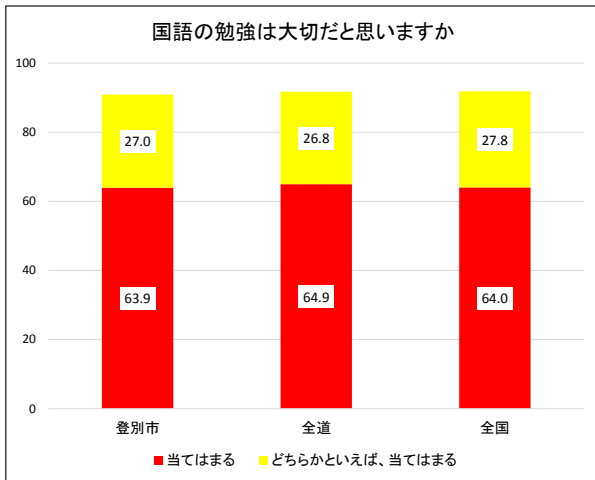
■ 登別市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:8校、児童数:381名)

【教科全体の状況】

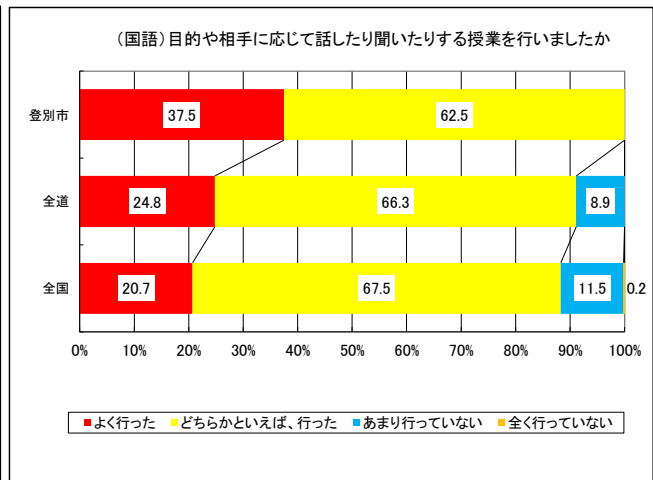
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語B及び算数Aは全道の平均正答率を上回っており、特に、国語においては、A・Bともに「話すこと・聞くこと」が全国の平均正答率を上回っている。	○ 各学校で、チャレンジテストや学習サポートなどの取組の充実を図るとともに、目的や相手に応じて、話したり聞いたりする授業を意図的に行ってきたことにより、国語の「話すこと・聞くこと」が全国の平均正答率を上回る結果に結び付いていると考えられる。
児童質問紙	○ 国語の勉強は大切だと思うと回答した児童の割合は、全道、全国と同等である。	
学校質問紙	○ 目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った学校は、全道、全国より多い。	○ 学校図書館司書の配置などの読書環境の充実を図ったことにより、国語への興味・関心が高まり、国語の勉強は大切であると回答した児童の割合が高まったと考えられる。

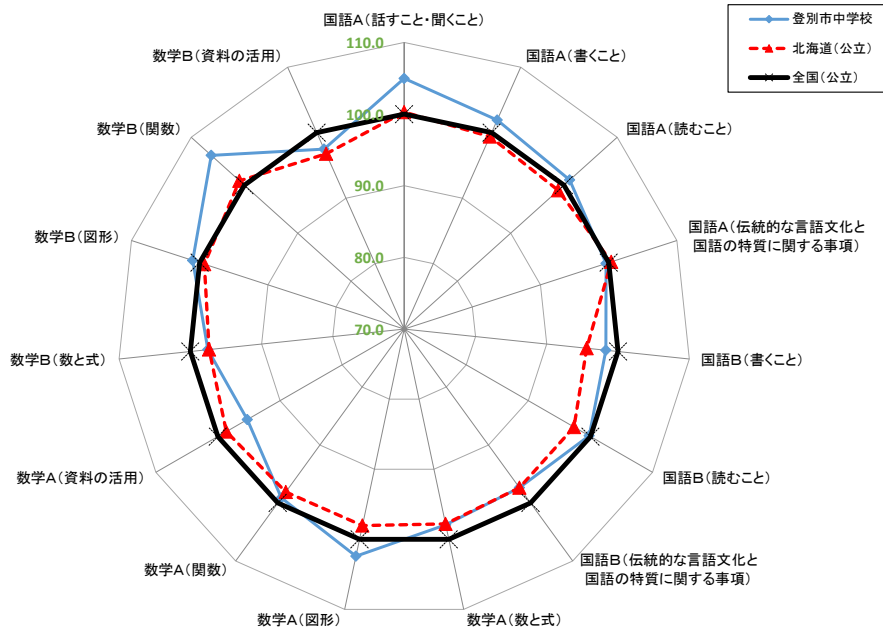
【登別市の学力向上策】

- ◎ 市独自に学習指導員を配置し、登別版チャレンジドリルの作成や各校の学力対策の支援
- ◎ 放課後や長期休業中の学習サポートの充実に向けた教材の作成、配布や地域住民による支援
- ◎ 学校図書館司書の配置や市立図書館と学校図書担当者の相互連携による読書環境の充実

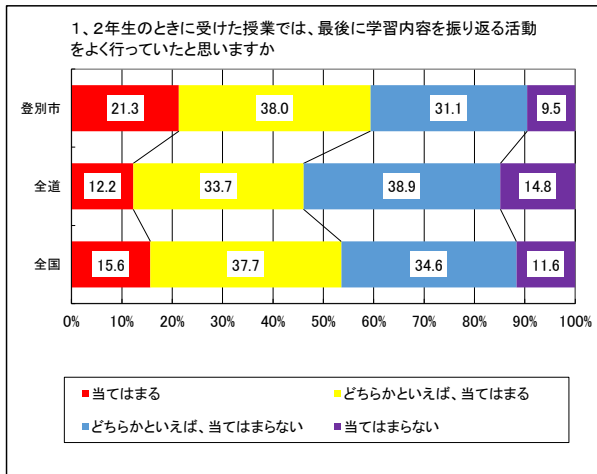
■ 登別市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:5校、生徒数:348名)

【教科全体の状況】

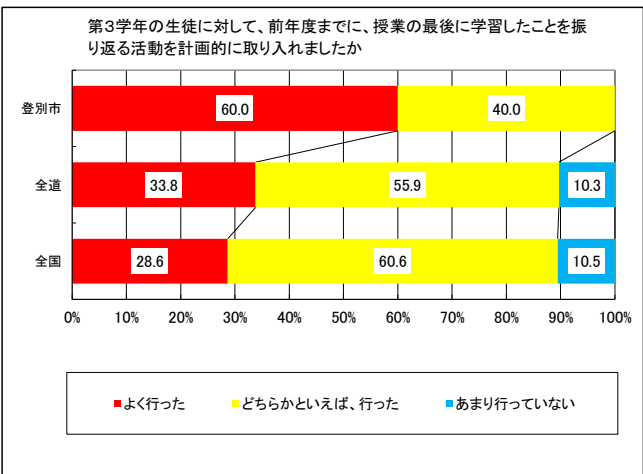
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 全ての教科で全道の平均正答率を上回り、国語A、数学Bにおいては、全国の平均正答率を上回った。ほとんどの領域において全道を上回っている。	○ 各学校で、学習の目標を明確にし、授業の最後に学習内容を振り返る活動を意図的、計画的に取り入れるとともに、チャレンジテストの取組や学習サポートなど、学習内容の定着を図る取組を充実させたことにより、ほとんどの領域において、全道の平均正答率を上回る結果に結び付いたと考えられる。
生徒質問紙	○ 授業の最後に学習内容を振り返る活動を行っていたと回答した生徒は、全道、全国よりも多い。	
学校質問紙	○ 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に行っていた学校は、全道、全国よりも多い。	

【登別市の学力向上策】

- ◎ 市独自に学習指導員を配置し、登別版チャレンジドリルの作成や各校の学力対策の支援
- ◎ 放課後や長期休業中の学習サポートの充実に向けた教材の作成、配布や地域住民による支援
- ◎ 学校図書館司書の配置や市立図書館と学校図書担当者の相互連携による読書環境の充実